

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:滋賀県彦根市

1. 事業名	女性つながりサポート事業
2. 実施期間	令和3年10月1日 ~ 令和4年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>コロナ禍による経済的不安、健康不安、また生活全般に対する漠然とした不安や孤独を感じている女性に対し、思いを共有するコミュニケーションの場を提供するとともに、それぞれの実情に即したきめ細やかな相談に対応する体制を充実させ、「一人にさせない」、「独りを感じさせない」ことによって、コロナ禍を乗り越え、さらに今後に繋がっていく仲間づくりのきっかけとすることを目的に実施する。</p> <p>また、必要に応じて、貧困による生理用品の不足に対する援助をするとともに、適切な相談窓口へつなぐことで、女性の自立を図る。</p>
4. 事業内容	<p>彦根市男女共同参画センター「ウィズ」の指定管理者として、長年、男女共同参画社会の実現に向け、各種講座や研修を企画運営してきた指定管理者「ウィズで集う会」へ下記事業を委託することで、その広い人脈や知見を活かし、コロナ禍において不安や困難を抱える女性に寄り添った、きめ細やかな支援を行う。</p> <p>○「つなサボサロン」（交付申請時名称「おしゃべりネットワークサロン」） 男女共同参画センター「ウィズ」を利用し、気軽に話せる場を提供し、仲間づくりのきっかけとする。また、・サロンの参加者には、必要に応じて、相談窓口の案内をするとともに生理用品（つなサボスマイルプロジェクト）を配布する。</p> <p>○つなサボ相談室（交付申請時名称「コロナ禍における女性の相談窓口」） コロナ禍における困難、不安などを抱える女性の相談に対応するため専門ダイヤルを開設するとともに、個別の面談相談窓口を設置する。また幅広い周知・啓発のためホームページを作成し、情報発信する。 貧困による生理用品不足などの面談相談者に対しては、必要に応じて、生理用品（つなサボスマイルプロジェクト）を配布した。</p> <p>○つなサボスマイルプロジェクト コロナの影響などにより生理用品の購入が困難な女性を対象に生理用品を提供することで、生理の貧困を解消するとともに、「つなサボサロン」や適切な相談窓口に繋げることで、不安や孤独の解消を図る。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>○本事業に対するアンケートをWEBで行った結果、445人から回答を得られ、回答者のうち「新型コロナウイルスの影響により現在、困っていること」については、「人との交流がない」が約6割と最も高く、人との交流の場を提供する「つなサボサロン」は有意義な支援であった。また、複数の参加者から本事業の継続を望む声があったことから、コロナ禍において不安や孤独を抱える女性に対し、不安の解消や社会との繋がりをつくるきっかけとなった。</p> <p>○「つなサボ相談室」については、専用ホームページにおいて、顔写真付きで女性相談員のプロフィールやコメントを掲載したことから、相談者からは「安心して相談できた」「相談しやすい」と言った感想が聞かれ、支援が必要な相談者に必要な支援が届けられた。また、WEBアンケートによると、回答者の約6割の人が「利用する可能性がある」と回答しており、潜在的利用者にとっても、「つなサボ相談室」の存在が大きな支えとなっていると言える。</p> <p>○生理用品については、配布を希望する女性は想定より少なかったが、WEBアンケートによると、本事業について、「今すぐ利用したい」の割合が最も高かったのは「生理用品の無料配布」であり、女性回答者のうち約1割の人が「(貧困等により)生理用品の購入をためらったことがある」と回答しており、「過去にあれば利用した」との回答も高い割合であったことから、生理用品の配布をきっかけとして、必要な支援の窓口に繋げるきっかけとなったと言える。</p> <p>○「つなサボ」事業の認知度については、WEBアンケートによると約4割であり、情報入手方法については「広報ひこね」について、「市の公式LINE」が多くなっている。「市の公式LINE」には、つなサボ専用HPがリンクされており、事業の詳細はLINE-専用HPから入手されている。SNSやLINEと言った子育て世代や現役世代の女性にとって最も身近な情報ツールを用いての事業啓発ができたことから、本事業への認知・参加だけでなく、ウィズの活動の紹介にも繋げることができ、男女共同参画、女性活躍についての啓発に繋げることができた。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>○「つなサボサロン」 参加人数 82人(目標値15人) 同じ境遇、悩みを抱える女性同士の悩みの共有や情報交換ができ、参加者からは「毎週参加するのが楽しみ」「育児からひと時離れてホッとする」との感想が聞かれ、支え合いの中で孤独や不安の解消の一助となることができた。</p> <p>○「つなサボ相談室」 相談者数(電話・面談) 21人(目標値45人) 指定管理業務としてウィズでの既存の相談事業も実施していることから、相談者は分散したと考えられるが、専用ホームページで女性相談員の顔写真やコメントを掲載したことで、相談者からは「安心して相談できた」「相談しやすい」と言った感想が聞かれ、支援が必要な女性に必要な支援が届けられた。</p> <p>○「つなサボスマイルプロジェクト」 生理用品提供 211パック ・ トイレ設置等 65パック 生理用品の提供をきっかけとして、「つなサボサロン」や「つなサボ相談室」をはじめとする必要な支援の窓口に繋げることができた。</p> <p>○専用ホームページの閲覧者数 3,302人(目標値180人) ブログ等をこまめに更新することで、事業に対する新鮮さを保ち、閲覧者数の増加に繋げることができ、本事業に対する一定の理解と認知度が広まった。</p>

7. 今後の課題	支援が必要な女性に対する安定した継続的な行政支援を提供できる体制の整備とともに、本事業に参加した孤独や困難を抱える女性同士の繋がりを自発的な活動に繋げるような支援が必要である。 また、コロナ禍における女性が必要とする支援のニーズの把握、特に生理の貧困に対する生理用品の必要性については、適切な支援窓口へ繋げることも含めて、実態把握と検証が必要であるとともに、県や近隣市町との情報共有、連携体制の強化が必要である。
8. 事業の実施体制	彦根市男女共同参画センター「ウィズ」の指定管理者である「ウィズで集う会」に事業委託し、彦根市社会福祉協議会、彦根公共職業安定所、市内3大学、市内3病院、市内商業施設、薬局、保・幼・各学校等、行政(女性活躍推進室・福祉センター)と連携し、広く周知図った。

9. 経費の内訳 (単位:円)

事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備考
1	女性つながりサポート事業	4(5)	3年度補正予算	2年度補正予算	2,000,000	1,500,000	0	500,000	
					0				
					0				
					0				
	合計				2,000,000	1,500,000	0	500,000	

10. 担当者名及び連絡先	所属部署:企画振興部企画課女性活躍推進室 電話番号:0749-30-6101 電子メールアドレス:danjo@ma.city.hikone.shiga.jp
---------------	--

11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載
----------------	------------

- 注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をもって記載してください。
- 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)又は第4【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)から選択してください。
- 注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「2年度当初予算」、「2年度補正予算」、「3年度当初予算」のいずれかを記載してください。
- 注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「2年度当初予算」、「2年度補正予算」、「3年度当初予算」のいずれかを記載してください。
- 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。
- 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。